

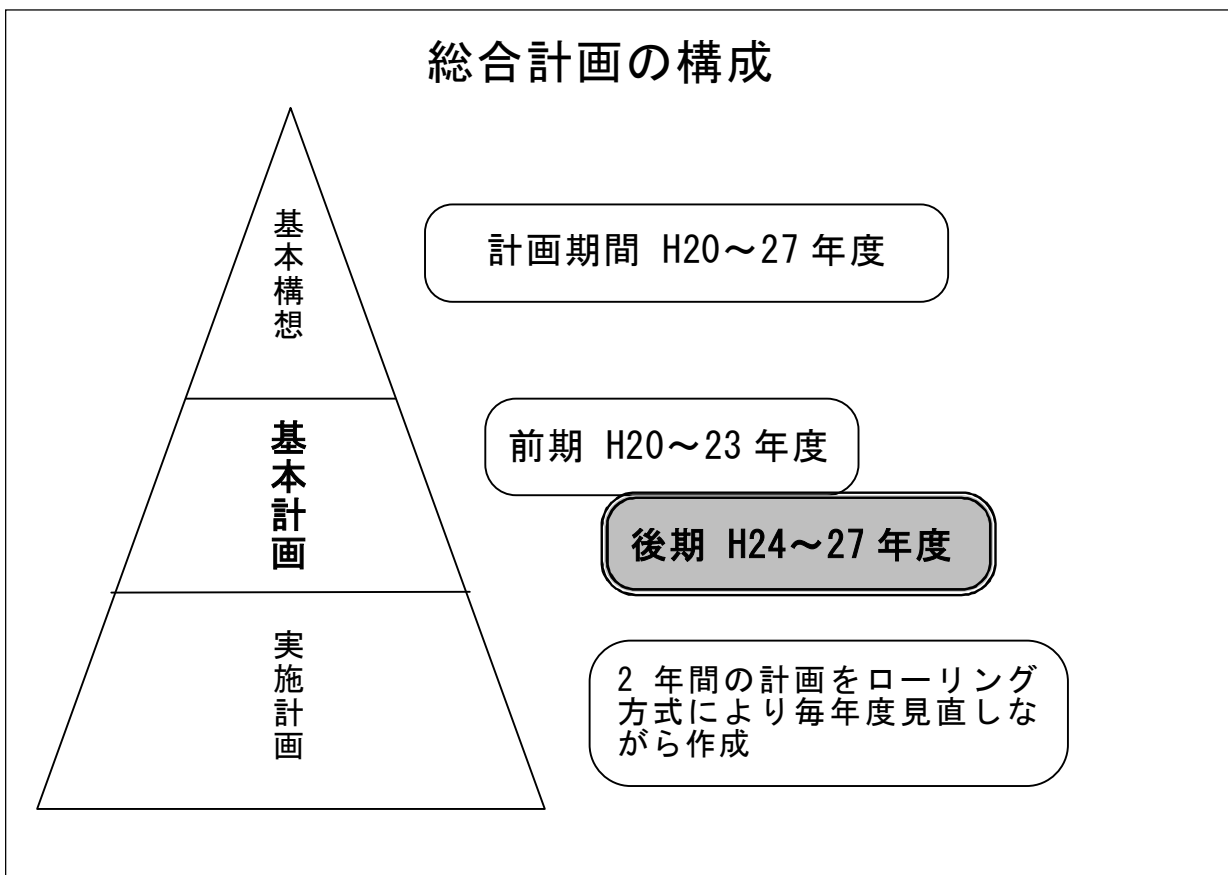
下野市総合計画について

総合計画とは…

総合計画とは、地域づくりの最も上位に位置づけられる行政計画であり、長期展望に立った計画的、効率的な行政運営の指針を示すものです。下野市の将来のあるべき姿(将来像)を掲げ、長期的な視点で体系的、計画的に事業を進めていくための計画で、基本構想・基本計画・実施計画の3本柱で構成されます。

- 基本構想 … まちづくりの基本理念、将来都市像とそれを達成するために必要な施策の大綱を明らかにするものです。
- 基本計画 … 基本構想に示された施策大綱に従って、施策の目的や方針、主要事業などを明らかにするものです。
- 実施計画 … 基本計画で示した施策の目的を達成するために必要な主要事業を明らかにするものです。

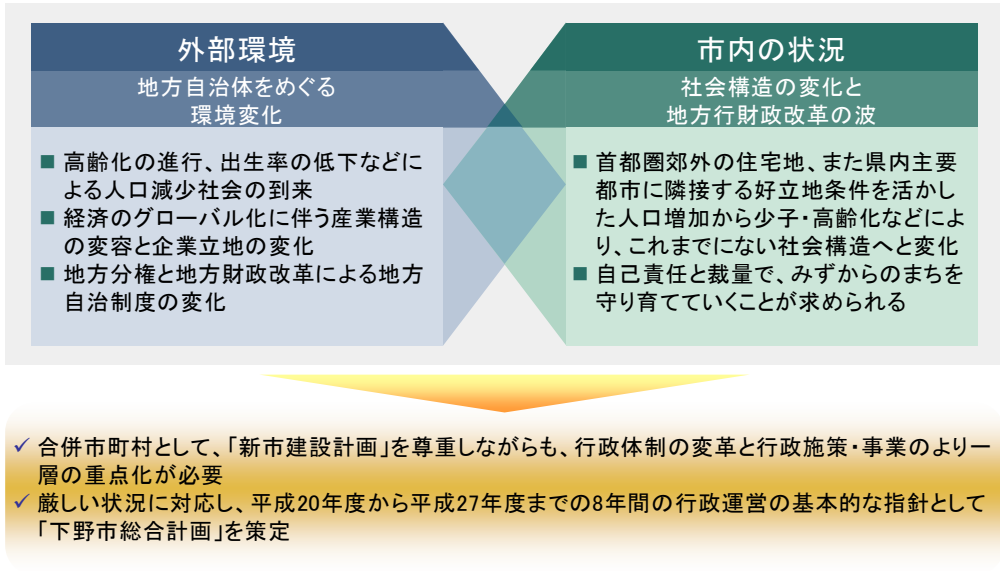
総合計画の構成



基本構想の概要

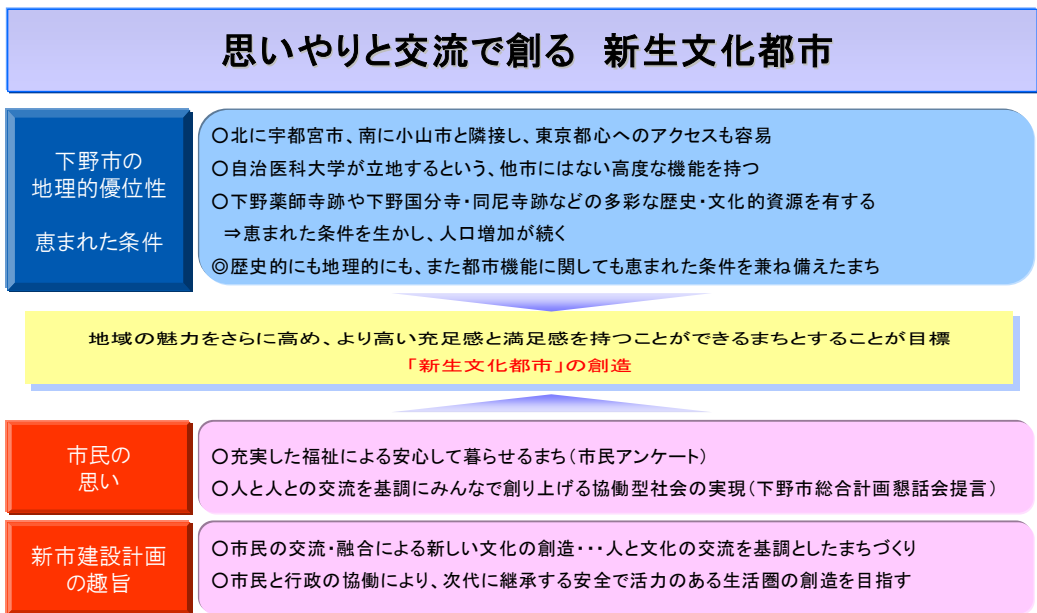
1 計画策定の趣旨

下野市が大きな変化と改革の流れの中で、市民の暮らしを支え、まちの活力を維持していくための行政運営の基本的指針として「下野市総合計画」を策定しています。



2 下野市の将来像

「市民の方々の思い」（「市民アンケート」の結果及び「下野市総合計画懇話会提言」）や「新市建設計画」の趣旨から、人と文化の交流を基調に、市民と行政が協働して、次代に継承する安全で活力のある生活圏を創造することを目指し、将来像を下記の通り決めました。



3 土地利用方針

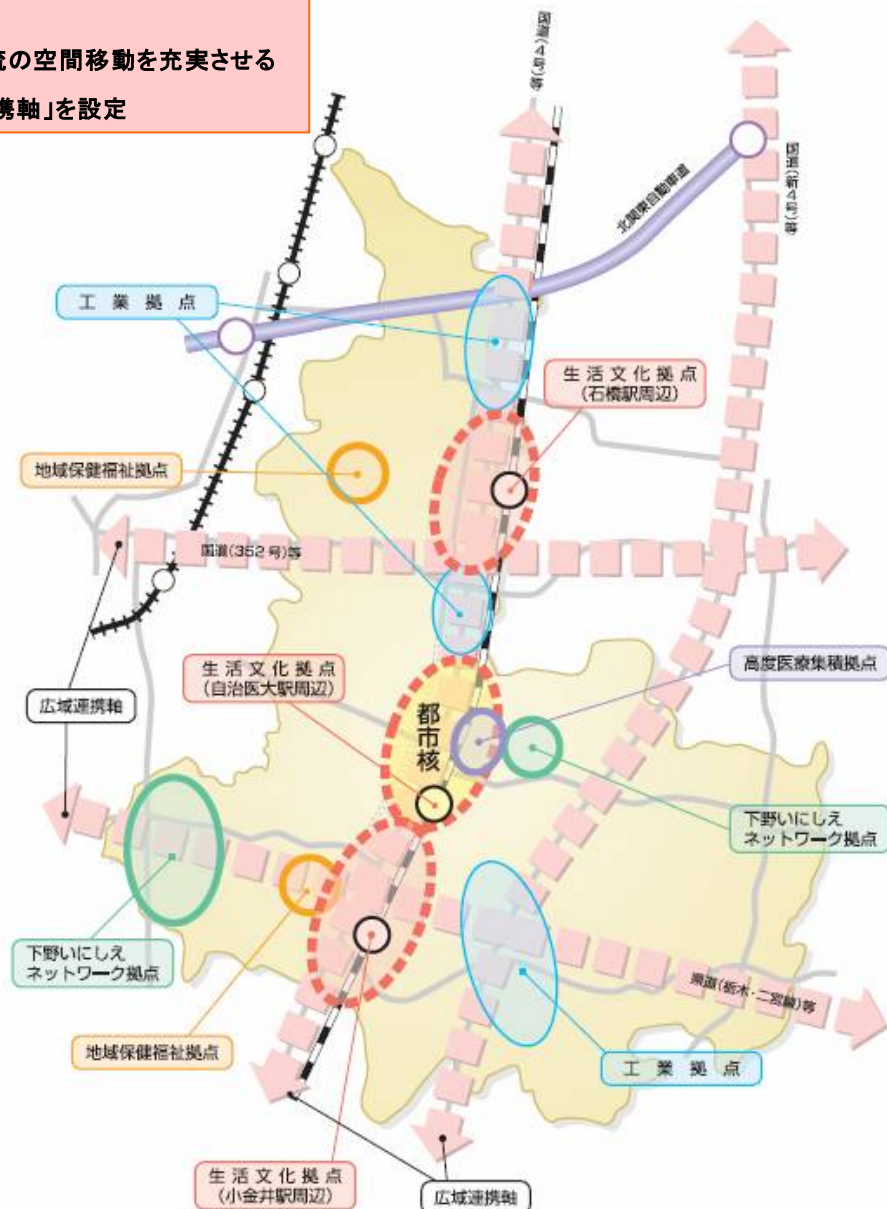
将来都市像を受けて、下野市が将来にわたって持続性のあるまちをつくり効率的な発展を図るため、また市内の均衡ある発展を図るために、各種機能を集積させる拠点機能を配置するとともに、市内外の広域的交流を活発にするための連携軸を設定しています。

■各種機能を集積させる拠点機能を配置

- 生活文化拠点
- 地域保健福祉拠点
- 高度医療集積拠点
- 工業拠点
- 下野いにしえネットワーク拠点
- 都市核

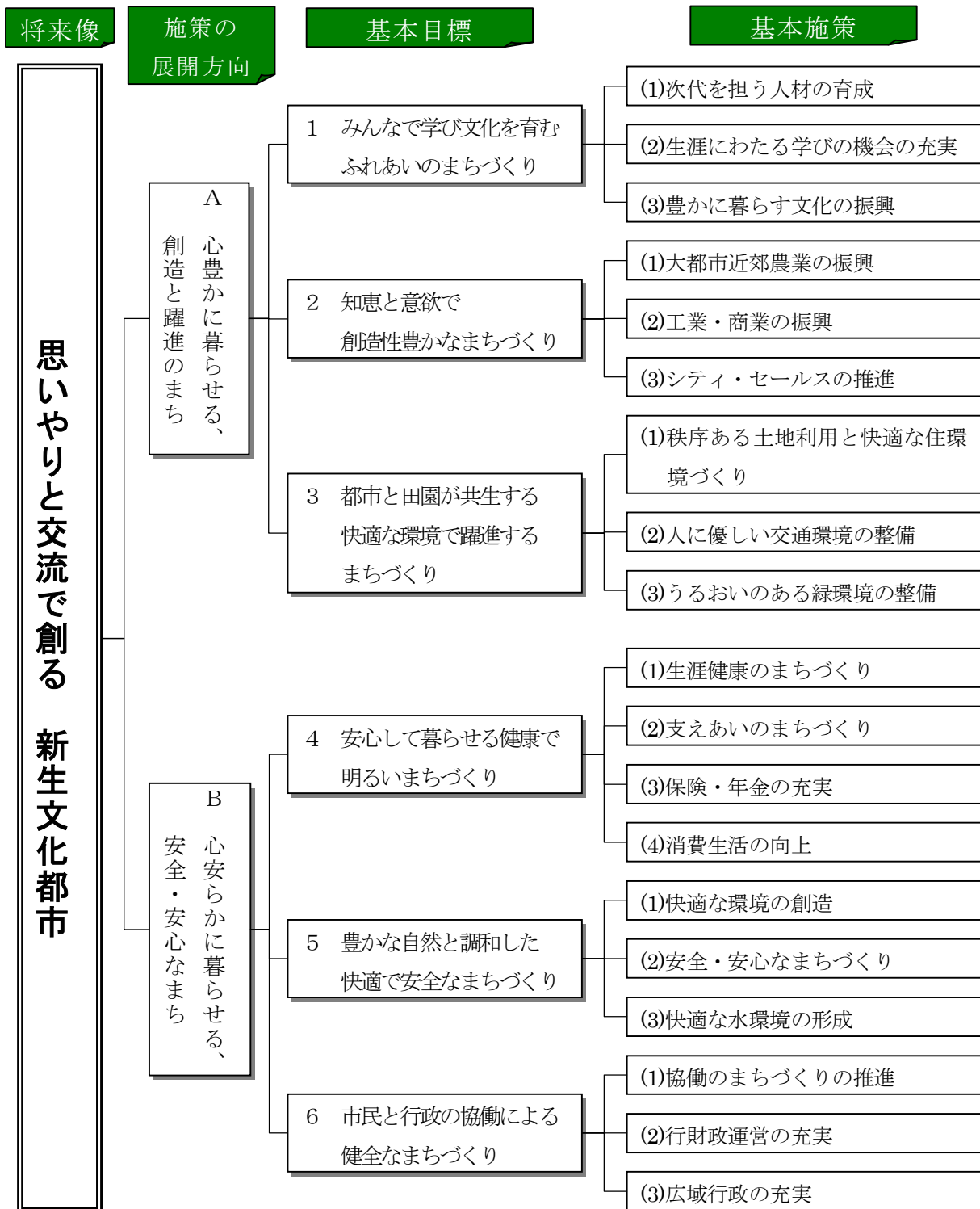
■人・物・文化交流の空間移動を充実させるための「広域連携軸」を設定

都市構造（イメージ）



4 施策の大綱

将来都市像を実現するため、6つの基本目標を、2つの展開方向（A：プラスの創造とB：マイナスの抑止）に分けて定めています。



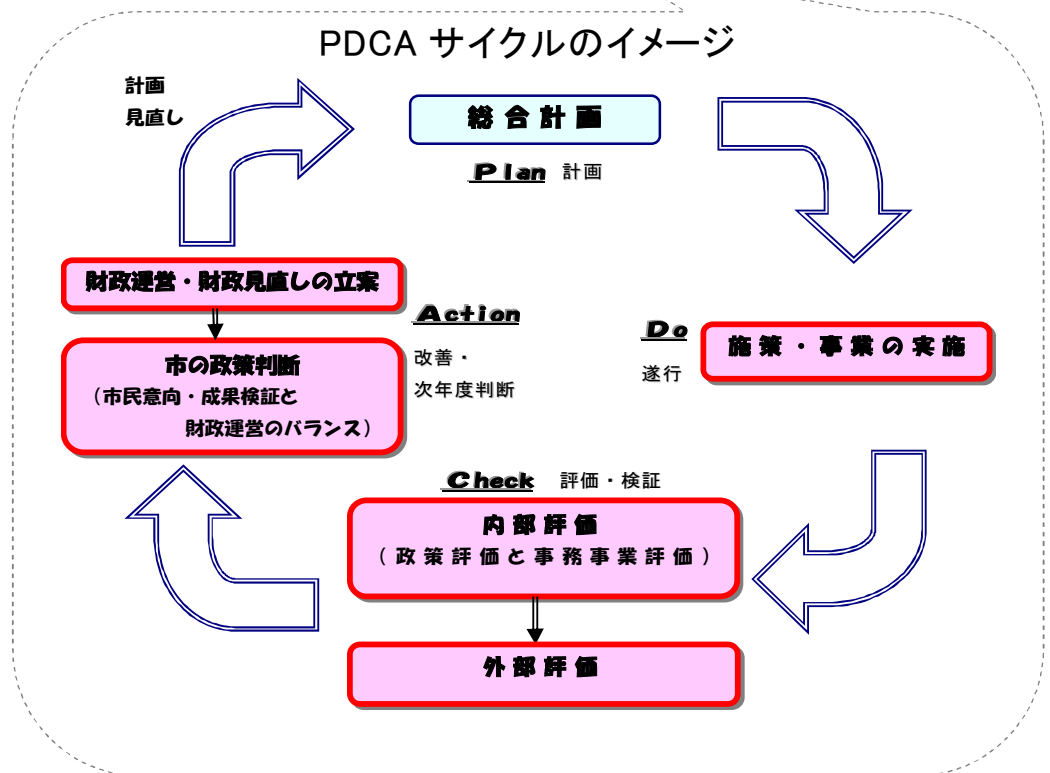
5 行政運営の方針

地方分権の進展や国の財政再建の機運が高まる中で、これからは、財政的に極めて厳しい状況を前提として行政運営を図っていく必要があります。

このためには、経営管理機能を高め、市民と行政の役割分担や施策・事業への財源の重点的配分を図り、健全財政の維持に努め、計画的な行財政運営を推進していく必要があります。

1 計画から評価・成果の検証へ、さらに事業の見直しへ

- ◆総合計画＝市の施策展開の最上位の計画
これを着実に実施することを通じた行政運営を原則とする。⇒財政上課題のあるもの・効率性・受益の大きさ等、課題の多いものは、廃止・凍結などの改革を実施
- ◆施策の実施後、市民と行政の協働による行政評価を実施（成果検証・事業の存廃）
⇒議会報告や監査を通じて歳出の妥当性を検証（PDCAサイクルの導入）



2 選択と集中の徹底

- ◆今後の行政運営において、適切な選択と集中が可能になるよう、施策の特性を踏まえた優先順位を設定（後述：基本計画）